

北総線問題

「値上げ回避へ権限行使」

専決処分で 違法性なし主張 白井市長

北総線運賃値下げ問題で、白井市議会に2度にわたる「NO」を突きつけられ、さらに審議未了で廃案となった補正予算案。横山久雅子市長は13日、議会の議決・決定を経ない専決処分を行い、北総鉄道に対して補助金約2400万円を支払う判断を下した。横山市長は「賛否同数により議決に至らなかったため」と理由を説明。公金支出に反対する市議は「すでに2回議決しており議案を開催できない状況ではない」と反発している。

(本文1面)

市役所で会見した横山市長は、北総鉄道が6月に白井市に対して送った「市の補助金が欠ければ可及的速やかに実施運賃を値上げせざるを得ない」とする文書について触れ「値上げという事態になれば不利益を被るのは市民。どうしても避ける必要があるという思いをもって市長の権限を使っただ」と説明。



値下げ支援補助金について専決処分を発表する横山市長＝13日、白井市役所

「持っていない」と話していたことについては「議員構成に変化がない限り議会において議決されないことが客観的に認められる。総務省、県、弁護士に相談し違法性はないと確認できた」と主張した。

9月議会で公金支出に賛成する立場から討論を申し出ていた長野紘一議長は「市長は議会の状況を見て判断したのだと思うので、それを尊重したい」と話している。

一方、公金支出に反対する市議10人は同日、横山市長に対し「専決処分は違法であり二元代表制のもと許

されるものではない」など案をもって専決できるといとする緊急声明を出した。また、北総線の運賃値下げを実現する会(山下兼男)



2011年のTDR・アンバサダーに決まった馬場智子さん

「TDRの魅力届けたい」

来年のアンバサダーに馬場さん

OLC

浦安市舞浜の東京ディズニーリゾート(TDR)を運営するオリエンタルランド(OLC)は、来年のTDR・アンバサダーが東京ディズニーシーのガイドツアー担当従業員、馬場智子

にわたる厳しい選考を経て大役を射止めた。「ビッグリして頭の中が真っ白になった。応援してくれた仲間や両親の顔が浮かび、感謝の気持ちで涙が出てきた」と選ばれた瞬間を振り返った。

馬場さんは3カ月間の研修を経て、来年元旦に今年の大宮佑奈さん(22)からバトンを引き継ぐ。TDR・アンバサダーはTDRの従業員を代表する親善大使と

「黒酢農法」江川産子供たちに食同市立みず食時間「写真酢米を味わっ「もちもちしりがいい」などと声が上

の給食に地元産米を使用している野田市は、ブランド化を進める「玄米黒酢農法」と「江川産米」を今月から新たに、学校給食に供給し始めた。いずれも野田市ブランド農産物に認定されており、品種はコシヒカリ。安全・安心な地元産米を普及させる取り組みの一環。学校給食は年間188日、そのうち約6割にあたる113日で米飯を出しており、野田ブランド米を

会長)も同日、横山市長に対し専決処分に対する抗議文を提出した。専決処分は、地方自治法に基づき、市長が議会の議決を得ないまま処理すること。同法では専決処分できるケースとして「議会が成立しないとき、議決すべき事件について特に緊急を要するため議案を招集する時間的余裕がないとき、議会において議決すべき事件を議決しないとき」など定められている。

旧浅子神文化庁の市川市は、一形文化財」に浅子神興(み

給食に野田ブランド

「黒酢農法」江川産

公立の小中学校と幼稚園の給食に地元産米を使用している野田市は、ブランド化を進める「玄米黒酢農法」と「江川産米」を今月から新たに、学校給食に供給し始めた。いずれも野田市ブランド農産物に認定されており、品種はコシヒカリ。安全・安心な地元産米を普及させる取り組みの一環。学校給食は年間188日、そのうち約6割にあたる113日で米飯を出しており、野田ブランド米を



給食に地元産米を使用している野田市の子供たち